

平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年7月31日

上場会社名 ユナイテッド株式会社 上場取引所 東証マザーズ
 コード番号 2497 URL http://united.jp
 代表者 (役職名)代表取締役会長CEO (氏名)早川 与規
 問合せ先責任者 (役職名)執行役員 (氏名)小川 大介 (TEL) (03) 6821-0000
 四半期報告書提出予定日 平成25年7月31日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日~平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	1,159	23.8	△109	—	△96	—	△97	—
25年3月期第1四半期	936	△22.5	44	△68.6	41	△64.8	13	△92.9

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 △66百万円(—%) 25年3月期第1四半期 △144百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	△4 38	—
25年3月期第1四半期	1 04	1 03

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第1四半期	6,091	5,235	85.1
25年3月期	6,845	5,443	76.3

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 5,186百万円 25年3月期 5,223百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	1 60	—	2 40	4 00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日~平成26年3月31日)

当期の連結業績予想につきましては、合理的な業績予想の算定が困難であるため記載しておりません。なお、当該理由等は、【添付資料】(P. 4「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想に関する定性的情報」)に記載しております。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

除外 1 社 (ソーシャルワイヤー株式会社)

(注) 詳細は、添付資料5ページ「2. サマリー情報 (注記事項) に関する事項 (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数 (四半期累計)

26年3月期1Q	22,563,207株	25年3月期	22,323,692株
26年3月期1Q	56,561株	25年3月期	27,611株
26年3月期1Q	22,362,428株	25年3月期1Q	13,264,543株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

当社は、平成25年8月1日に機関投資家及びアナリスト向けの四半期決算説明会を開催する予定です。この説明会で配布した資料等については、当社ホームページで掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	8
四半期連結包括利益計算書	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、長引くデフレに加え、欧州における債務問題や新興国の成長鈍化等の影響もあり、依然として不透明な状況が続いておりますが、政権交代を機に、円安基調や株高が進行しており、今後の景気回復に向けた期待感が高まりつつあります。

当社グループが事業展開を行うインターネット関連市場においても、スマートフォン、タブレット端末等のスマートデバイスの急速な普及が進んでおり、平成25年5月の㈱MM総研の報告によりますと、平成24年度における携帯電話端末の国内スマートフォン出荷台数は2,972万台となり、総出荷台数に占めるスマートフォン出荷台数比率は71.1%と過半数を大きく超えております(*1)。また、世界市場に目を向けても同様に、スマートフォンの販売台数は平成25年に携帯電話端末出荷台数の過半数を超える見通しで、今後高い成長が見込まれる有望市場であることが示唆されております(*2)。

こうした環境のもと、当社グループにおきましては、㈱スパイアと平成24年12月に合併して経営資源・ノウハウ・顧客等の統合を図って規模を拡大し、成長スピードの加速による競争力向上を図りました。その中で、合併前から両社がいち早く取り組み先行投資を行っている「スマートフォンメディア事業」及び「RTB広告事業」を注力事業領域と定め、事業展開してまいりました。

当第1四半期連結累計期間においては、スマートフォンメディア事業において『CocoPPa(ココッパ)』のダウンロード数が世界で急速に伸長するなど、想定を上回るペースでサービスが拡大しました。また、当初の計画どおり、注力事業領域における先行投資を実施した結果、売上高は1,159百万円(前年同四半期比23.8%増)となり、営業損失は109百万円(前年同四半期は44百万円の利益)、経常損失は96百万円(前年同四半期は41百万円の利益)、四半期純損失は97百万円(前年同四半期は13百万円の利益)となりました。

(*1)㈱MM総研『2012年度通期国内携帯電話端末出荷概況』

(*2)米IDCによる調査(平成25年6月4日公表)

当第1四半期連結累計期間の各セグメントの概況は、以下のとおりであります。

(イ) メディア事業

メディア事業は、スマートフォン向けメディアの運営を行うスマートフォンメディア事業、メール広告等のデータベースマーケティング事業、スポーツマーケティング事業を提供しております。

スマートフォンメディア事業につきましては、当社グループにおける注力事業領域の1つと位置づけ、積極的な経営資源の投入を行ってまいりました。そのような中、昨年7月に公開したスマートフォン向けアプリ『CocoPPa(ココッパ)』のダウンロード数が米国を中心に全世界で急速に伸長し、リリースから約11ヶ月で累計1,000万ダウンロードを突破する等、順調な立ち上がりを見せております。

こうしたスマートフォンメディア事業の成長等により、第1四半期連結累計期間におけるメディア事業の売上高は571百万円(前年同四半期は3百万円)と大きく伸長し、セグメント利益は0百万円(前年同四半期は17百万円の損失)となりました。

(ロ) 広告事業

広告事業は、広告主向け広告管理サービス事業(DSP: Demand Side Platform サービス名Bypass(バイパス))、メディア向け広告プラットフォーム事業(SSP: Supply Side Platform サービス名Adstir(アドステア))、広告主向けにDSPその他のデジタルマーケティングの戦略設計・運用を担うトレーディングデスク事業等を提供しております。

「スマートフォンに特化した広告プラットフォーム関連サービスの拡大」を主たる事業戦略として掲げており、国内初となるスマートフォンに特化した広告入札の仕組み(RTB: Real Time Bidding)をスマートフォン広告市場に浸透させ、国内におけるスマートフォンRTB市場で圧倒的なシェアを獲得するために、前連結会計年度に引き続き新たな商材の開発・市場投入を継続的に実施してまいりました。

当第1四半期連結累計期間においては、これらの新サービスの先行投資部分が営業利益に影響したため、広告事業の売上高は581百万円(前年同四半期比7.8%減)となり、セグメント損失は42百万円(前年同四半期は17百万円の損失)となりました。

(ハ) インベストメント事業

インベストメント事業は、主にシード/アーリーステージを中心としたベンチャー企業への投資を提供しております。

当事業におきましては、前連結会計年度で保有していた㈱ミクシィの株式売却が終了したこと、当第1四半期連結累計期間の期首において連結子会社でありましたソーシャルワイヤー㈱が持分法適用関連会社に異動したこと等の影響により、売上高11百万円(前年同四半期比96.2%減)、セグメント損失3百万円(前年同四半期は153百万円の利益)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末と比べ754百万円減少し、6,091百万円となりました。これは主にソーシャルワイヤー㈱が持分法適用関連会社に異動した影響744百万円によるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末と比べ545百万円減少し、856百万円となりました。これは主にソーシャルワイヤー㈱が持分法関連会社に異動したことによる影響468百万円及び買掛金が115百万円減少したこと等によります。

純資産合計は前連結会計年度末と比べ208百万円減少し、5,235百万円となりました。これは主に期末配当金による利益剰余金の減少53百万円及び少数株主持分が149百万円減少したことによります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

スマートフォンの急速な普及により、当社グループが属する市場環境は大きな変換期を迎えております。このような変化の中、平成26年3月期につきましては、注力事業領域であるスマートフォンメディア事業、RTB広告事業への投資を継続することにより、第2四半期連結累計期間(4-9月期)の営業利益は赤字となる見通しであります。下期に両事業の収益基盤を確立し、通期の連結売上高及び営業利益については、前期実績を上回る業績を確保することを目指します。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

ソーシャルワイヤー株式会社について、事業上の関係性・人的関係性が低下し、支配関係が希薄となることから、当第1四半期連結会計期間より、同社を連結子会社から持分法適用関連会社へ異動しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(表示方法の変更)

従来、固定負債に掲記区分しておりました『ポイント引当金』につきまして、当第1四半期連結会計期間より、流動負債の『ポイント引当金』に合算して表示する方法に変更いたしました。

この変更は、固定負債に掲記区分しておりました『ポイント引当金』について、従来はポイントの取得から交換までの期間が比較的長く1年を超えると捉え、固定負債に計上しておりました。しかしながらアプリの性質上、ポイントを比較的容易に商品(楽曲やギフト券等)に交換できることから、付与したポイントの大部分が1年以内に使用されることが見込まれたためであります。

なお、今回の変更により前事業年度末における流動負債の『その他』に含めて記載しておりました『ポイント引当金』は8百万円であり、固定負債に掲記区分しておりました『ポイント引当金』と合算し、55百万円となっております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,252,401	3,555,582
受取手形及び売掛金	792,311	584,903
有価証券	500,000	—
営業投資有価証券	713,398	803,464
たな卸資産	11,750	13,371
その他	687,095	534,254
貸倒引当金	△7,275	△3,072
流動資産合計	5,949,681	5,488,505
固定資産		
有形固定資産	130,102	105,557
無形固定資産		
のれん	6,304	5,231
その他	225,818	122,480
無形固定資産合計	232,122	127,711
投資その他の資産		
投資有価証券	57,970	58,000
関係会社株式	221,283	180,216
その他	269,866	141,310
貸倒引当金	△15,265	△9,646
投資その他の資産合計	533,855	369,880
固定資産合計	896,079	603,148
資産合計	6,845,761	6,091,653
負債の部		
流動負債		
買掛金	542,175	426,975
短期借入金	95,000	50,000
1年内返済予定の長期借入金	75,628	22,737
未払法人税等	39,354	16,130
ポイント引当金	55,842	52,549
資産除去債務	8,000	—
その他	390,384	285,652
流動負債合計	1,206,385	854,044
固定負債		
社債	59,400	—
長期借入金	130,794	—
その他	5,400	2,046
固定負債合計	195,594	2,046
負債合計	1,401,979	856,091

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,840,969	1,886,089
資本剰余金	1,833,596	1,878,716
利益剰余金	1,469,844	1,318,422
自己株式	△7,101	△16,173
株主資本合計	5,137,308	5,067,055
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	86,484	119,048
その他の包括利益累計額合計	86,484	119,048
新株予約権	67,525	46,541
少数株主持分	152,463	2,917
純資産合計	5,443,781	5,235,562
負債純資産合計	6,845,761	6,091,653

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	936,481	1,159,285
売上原価	573,132	871,161
売上総利益	363,349	288,124
販売費及び一般管理費	318,387	397,216
営業利益又は営業損失(△)	44,961	△109,092
営業外収益		
受取利息	1,249	1,221
受取配当金	1,092	0
持分法による投資利益	1,540	9,790
貸倒引当金戻入額	1,800	—
その他	1,279	1,826
営業外収益合計	6,962	12,838
営業外費用		
支払利息	1,319	424
為替差損	8,373	—
その他	555	135
営業外費用合計	10,247	559
経常利益又は経常損失(△)	41,675	△96,813
特別利益		
持分変動利益	4	—
新株予約権戻入益	5,816	—
資産除去債務戻入益	—	8,000
特別利益合計	5,820	8,000
特別損失		
事務所移転費用	—	2,689
特別損失合計	—	2,689
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	47,496	△91,502
法人税、住民税及び事業税	3,085	7,202
法人税等調整額	25,517	—
法人税等合計	28,603	7,202
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	18,893	△98,705
少数株主利益又は少数株主損失(△)	5,141	△794
四半期純利益又は四半期純損失(△)	13,751	△97,911

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	18,893	△98,705
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△101,837	35,250
繰延ヘッジ損益	△61,685	—
持分法適用会社に対する持分相当額	—	△2,616
その他の包括利益合計	△163,522	32,634
四半期包括利益	△144,629	△66,071
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△149,771	△65,347
少数株主に係る四半期包括利益	5,141	△723

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	メディア事業	広告事業	インベストメ ント事業	計		
売上高						
外部顧客への 売上高	3,849	630,849	301,782	936,481	—	936,481
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	3,849	630,849	301,782	936,481	—	936,481
セグメント利益 又は損失(△)	△17,981	△17,183	153,612	118,446	△73,485	44,961

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△73,485千円は、全額各報告セグメントに配分していない全社費用であり、その主なものは、本社の管理部門等に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	メディア事業	広告事業	インベストメ ント事業	計		
売上高						
外部顧客への 売上高	565,941	581,881	11,462	1,159,285	—	1,159,285
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	5,461	—	—	5,461	△5,461	—
計	571,402	581,881	11,462	1,164,747	△5,461	1,159,285
セグメント利益 又は損失(△)	118	△42,126	△3,842	△45,849	△63,242	△109,092

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△63,242千円は、全額各報告セグメントに配分していない全社費用であり、その主なものは、本社の管理部門等に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

前連結会計年度より、事業セグメントの区分方法を見直し、報告セグメントを従来の「インターネット関連事業」「インベストメント&インキュベーション事業」から、「メディア事業」「広告事業」「インベストメント事業」に変更しております。

なお、当第1四半期連結累計期間の比較情報として開示した前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の報告セグメントにより作成しており、前連結会計年度の第1四半期連結累計期間に開示した報告セグメントとの間に相違が見られます。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。